

製品名: ERK1/2 (4A4) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03874**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 44,42 kDa; Observed MW: 42,44 kDa

抗原情報

遺伝子名	MAPK3/MAPK1
別名	MAPK3; ERK1; ERT2; ERK-1; PRKM3; P44ERK1; P44MAPK; HS44KDAP; HUMKER1A; p44-ERK1; p44-MAPK; MAPK1; ERK; p38; p40; p41; ERK2; ERT1; ERK-2; MAPK2; PRKM1; PRKM2; P42MAPK; p41mapk; p42-MAPK.
遺伝子 ID	5595/5594
SwissProt ID	P27361/P28482
免疫原	-

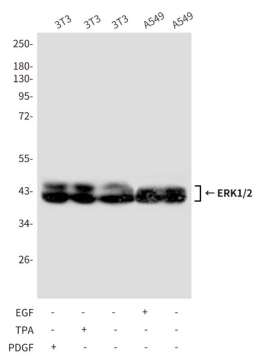
背景

セリン/スレオニンキナーゼは、MAP キナーゼシグナル伝達経路の必須構成要素として機能します。MAPK1/ERK2 と MAPK3/ERK1 は、MAPK/ERK カスケードにおいて重要な役割を果たす 2 つの MAPK です。これらは、活性化 KIT および KITLG/SCF によって開始されるシグナル伝達カスケードにも関与します。細胞の状況に応じて、MAPK/ERK カスケードは転写、翻訳、細胞骨格の再編成を制御することにより、細胞の成長、接着、生存、分化など、多様な生物学的機能を媒介します。

研究分野

細胞生物学

画像データ



EGF 処理 A549、PDGF 処理 3T3、TPA 処理 3T3 溶解物中の ERK1/2 (4A4) 抗体を用いたウェスタンブロット分析。